

全会一致で可決(同意・認定)された議案

議案 第63号	瑞穂町新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金基金条例	pick up 2
議案 第64号	瑞穂町税賦課徴収条例の一部を改正する条例	
議案 第65号	瑞穂町教育委員会委員の任命について	
議案 第66号	瑞穂町道路線の廃止について	
議案 第67号	瑞穂町道路線の認定について	
議案 第68号	令和2年度瑞穂町一般会計補正予算(第6号)	pick up 3
議案 第69号	令和2年度瑞穂町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	
議案 第70号	令和2年度福生都市計画瑞穂町箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	
議案 第71号	令和2年度瑞穂町介護保険特別会計補正予算(第1号)	
議案 第72号	令和2年度瑞穂町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
議案 第73号	令和2年度瑞穂町殿ヶ谷財産区特別会計補正予算(第1号)	
議案 第74号	令和2年度瑞穂町石畑財産区特別会計補正予算(第1号)	
議案 第75号	令和2年度瑞穂町箱根ヶ崎財産区特別会計補正予算(第1号)	
議案 第76号	令和2年度瑞穂町長岡財産区特別会計補正予算(第1号)	
議案 第77号	令和2年度瑞穂町下水道事業会計補正予算(第1号)	
議案 第78号	令和元年度瑞穂町一般会計歳入歳出決算認定について	
議案 第79号	令和元年度瑞穂町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	
議案 第80号	令和元年度福生都市計画瑞穂町箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	
議案 第81号	令和元年度瑞穂町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	
議案 第82号	令和元年度瑞穂町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	
議案 第83号	令和元年度瑞穂町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
議案 第84号	令和元年度瑞穂町殿ヶ谷財産区特別会計歳入歳出決算認定について	
議案 第85号	令和元年度瑞穂町石畑財産区特別会計歳入歳出決算認定について	
議案 第86号	令和元年度瑞穂町箱根ヶ崎財産区特別会計歳入歳出決算認定について	
議案 第87号	令和元年度瑞穂町長岡財産区特別会計歳入歳出決算認定について	
議案 第88号	令和2年度瑞穂町一般会計補正予算(第7号)	pick up 4
議員提出議案 第1号	瑞穂町議会基本条例	} pick up 1
議員提出議案 第2号	瑞穂町議会議員政治倫理条例	
議員提出議案 第3号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	

※全ての議案の詳細は
HPでご覧になれます。



※ pick up 1 はP4～5に、
pick up 2～4 はP6に詳細を掲載してあります。

委員会活動報告

基地対策特別委員会



オスプレイの騒音・振動被害など 国に対策を強く要望

基地対策特別委員会は、7月16日、町と一体となって、防衛省・外務省・総務省・環境省へ要望活動を行いました。主な内容は、「騒音および安全確保に関する米軍への申し入れ」など11項目にわたる要望書を提出するとともに、2年度は、特に、CV-22オスプレイによる恒常的な騒音・振動被害や夜間訓練、部品の落下などが発生していることから、口頭要請も含め、安全確保と情報提供を強く求めました。また、基地内での新型コロナウイルス感染症の発生状況についても、速やかな情報提供と感染防止策の徹底を求めました。



北関東防衛局長に要望書を提出

町政を問う



一般質問

13人の議員から18件の一般質問

一般質問とは？

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

質問の範囲は、町の行財政全般のほか、地域の問題や住民生活に関わる事項など多岐にわたっています。



質問 防災行政無線は、携帯電話やパソコンを持っていない高齢者などを始め、町内全域に情報を届けるには有効で、現在進められているデジタル化により聞こえやすくなる。しかし風雨の強い場合など気象条件の影響を受けやすく、また、住宅の防音性の向上などにより屋内では聞こえにくいこともある。多くの自治体で、屋内で聞くことができる自動起動の防災ラジオを配布して好評である。我が町も配布すべきと考えるが、町長の所見を伺う。
町長 防災情報の伝達手段においては、一律の伝達方法ではなく、多種にわたる組み合わせ



原 隆夫 議員(公明党)

防災ラジオ(自動起動ラジオ)の配布を



町長 多種にわたる伝達方法の組み合わせが必要

せが必要である。聴覚や視覚に障がいのある人、若年層から高齢者まで、正しい内容が届くようにするべきと考えている。様々な防災アプリケーションなども開発されているが、新しい技術に慣れない方も存在するので、戸



提供：藤沢市防災安全部防災政策課

神奈川県藤沢市で市内在住者(1世帯につき1台)に有償頒布されている防災ラジオ